

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、赤信号で停止しようとしている時の危険について考えてもらうためのKYTです。

活用方法

1. 少人数のグループをつくります。
2. 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
3. その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト (カラー・A4版)」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。また PDF ファイルもダウンロード (無料) できます。

ホンダ SJ 検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業 (株) 安全運転普及本部
TEL: 03(5412)1736 E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

© 本田技研工業 (株)

信号機のある横断歩道に近づきました。赤信号なので、あなたは停止線に合わせてクルマを停止させようとしています。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

Q1

平成 27 年中の交通事故死者数 (24 時間死者数) は次のうちどれでしょう？

- ① 3980 人 ② 4117 人
③ 4226 人

Q2

走行中の車が危険を察知して急ブレーキをかけた場合、乾いた舗装路面を 60km/h で走行していた際の停止距離 (空走距離 + 制動距離) の目安は次のうちどれでしょう？

- ① 32 m ② 44 m ③ 54 m

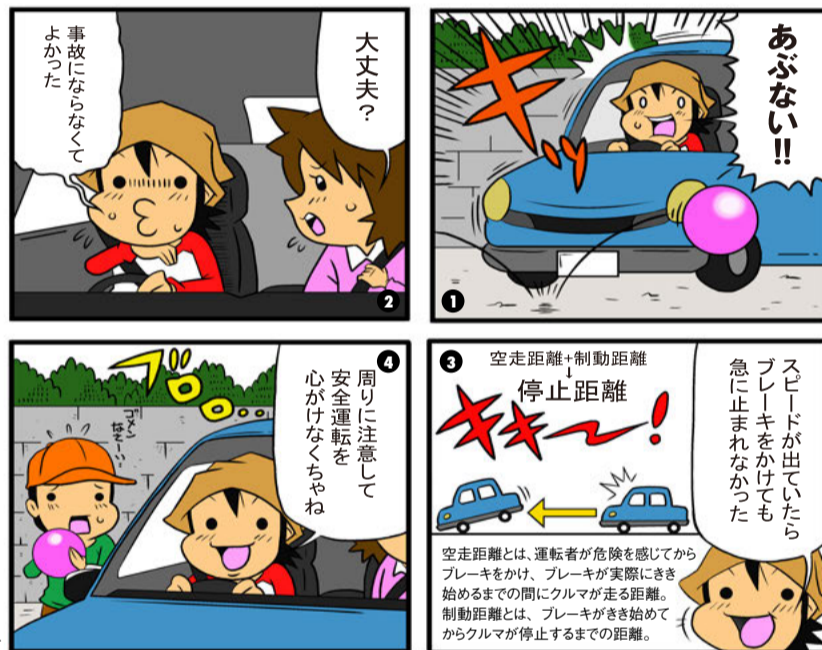
Q3

運転は「認知 (見る)」→「判断」→「操作」の繰り返しといわれ、ドライバーは常にこの手順で運転していますが、交通事故の原因となった運転者のミスで最も多いのは、「認知」、「判断」、「操作」の中で、どの段階でのミスでしょう？

- ① 操作ミス ② 判断ミス
③ 認知ミス

※「解答」は 8 面下、「解説」は下記 SJ ホームページでご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

漫画: 塚本ケースケ



SJ クイズ ?

© 本田技研工業 (株)

指導者ファイル

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育に携わる指導者の方々を紹介していきます。

31

新潟県上越市・安全教育指導員の皆さん

(左から) 矢阪未希さん、西條ひとみさん、菅林佐津紀さん

常に参加者の反応を意識しながら、興味を持ってもらえる指導を実践

上越市は新潟県の南西部に位置する人口約 20 万人の都市である。同市では防災危機管理部市民安全課に所属する安全教育指導員 3 名が幼児、小学生、中学生、高齢者を中心に交通安全教室を年間 120 回以上実施している。

幼稚園・保育園での交通安全教室で活用されているのが Honda の交通安全教育プログラム「あやとりひよこ編」だ。「幼児に具体的な交通場面をイメージしてもらいやすく、歩行者・クルマのイラストを動かして視覚的に伝えることができるので取り入れています」と菅林さんはいう。

幼児の注目をより集めるために教材だけでなく、「シンゴウジャー」というオリジナルのヒーローキャラクターを考案。安



全教育指導員が「シンゴウジャー」となって、交通安全教室に登場する。演じる機会が多い矢阪さんは「子どもたちが食い入るように話を聞いてくれますし、園の先生方にも好評です」と話す。

交通安全教室で指導を行う際、3 人は参加する子どもや高齢者への目配りを常に意識している。西條さんは「基本的なシナリオや教材は用意しますが、参加者の反応を見ながら、臨機応変に対話する度合いや話の長さを変えるように心がけています」と語る。

指導者の皆さんの活動を動画でご紹介

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/area/movie/>

● 幼稚園・保育園での交通安全教室



「あやとりひよこ編」を活用して、道路を歩く場所や道路を横断する際の安全確認の大切さを説明

安全教育指導員の皆さんが考案し、自ら演じる「シンゴウジャー」は子どもたちに大人気

幼児の保護者も参加する時に使用する教材。送迎時など駐車場で子どもから目を離さず、子どもと手をつなぐことが安全であることを親子に伝えるための教材

カー用品の折り畳み式サンシェードを使った教材。Honda が開催している指導員向けの勉強会で他の地域の指導員が紹介していたものを取り入れたという

チャイルドシートの効果を理解してもらうための教材